

東京奄美会文化広報部

第2回 広報委員会 議事メモ

<日 時>平成27年2月28日(土) 14:00~16:30

<場 所>神田居酒屋「結い」

<出席者>竹内、外内、里山、遠山、坂井、里原、政元、森谷、松原、原田 (10名)

懇親会のみ：森会長、花岡 (懇親会参加者9名)

<欠席者>山田、碓山、中濱、和田、勝、宮原、高田 (代理原田)

\* (14:00~15:00)

- ・パソコンを使って、HP編集の基本の講習を行った。
- ・パソコン持参者 (里原、政元、森谷、遠山、原田)
- ・「HP操作マニュアル」に沿って、竹内文化広報部長より基本的説明を行った。

\* (15:00~16:30) 外内広報委員長により議事進行

(議 事)

○文化講演会のテーマと開催時期について (資料4により竹内部長説明の後 討議)

- ・開催テーマの2案のうち、(1案)の「奄美・琉球自然遺産登録に向けて」のテーマが時宜にかなうテーマであるとして採択決定した。
- ・(2案)の「奄美芸能・・・」については、楽しいテーマだが、来年若しくは今年の2回目として検討することとなった。
- ・講師として、環境庁や環境庁から鹿児島県に出向している方がいるはずなので、早急に検討人選を進めることとなった。
- ・開催時期については、執行部と日程調整のうえ原案通り6月中下旬から7月上旬にかけて実施することとし、併せて会場探しをすることとなった。

○奄美各市町村への「広報連絡員の配置のお願い」について

(資料5により竹内部長説明の後、協議)

- ・資料5の依頼状の内容については、基本的に了承された。
- ・資料5の依頼状のWord原稿を竹内より各広報委員に送付し、各市町村宛ての内容に修正の上、各委員より送付することを確認した。なお、送付先は広報担当課長宛てとすることを確認。(担当課は資料5の(参考)表参照)

○HP全般の活性化について

- ・前回会議で、竹内よりHPの見直し案を提言する、としていたが、もう少し委員間で議論した後の方が良いと判断し、現行のHPの課題や問題点について討議を提起するも、意見なし。今後も随時議論することとした。

- ・竹内より、以下の新しい編集企画を説明、提案した。(資料6-2, 6-3)
  - 1) (資料6-2) 「奄美各市町村人口推移」をHPのコーナーとして掲載することにより会員が関心を持ってHPを参照に来るのではないか。各広報委員(及び連絡員)もデータ収集、編集のため参加するようになることを期待する。(竹内説明) → 各委員とも作成、掲載に同意した。
    - HPにUPした後、今後は各委員がそれぞれの関係市町村のデータを自主的に編集修正することとなった。
  - 2) (資料6-3) 「奄美方言集」を収集編纂し、HPへ掲載する。本来なら、会員がHPより書き込んで、方言集を完成させるという方式が望ましいが、プログラム作成技術がないため、委員各位が作成したものを一括掲載する方法としたい。(竹内説明) → 各委員とも作成、掲載に同意した。
    - とりあえず各委員が持ち帰り、方言集を完成させることとした。
    - 表が膨大となるため、掲載方法は別途検討することとした。
  - 3) 「会員の寄稿」についても、一般会員が関心を持ってアクセスしてくれそうな方を探していくことを提案。 → 各委員で同意。
- ・勝広報委員会等の提言(資料6-1)のうち、会議議事録については、執行部とよく協議して掲載の内容、方法等を今後検討することとした。
- ・バナー広告について、前回会議以降バニラ航空が加入することとなった。各委員が引き続き加入者掘り起こし努力をすることを確認。

○その他；奄美「島おこしインターンシップ支援事業」について

- ・昨年夏に同事業(「島キャン」)を主催したカケハシスカイソリューションズより、同事業の実施経過の報告と、今夏の同事業への協力(島での学生受入協力者の紹介)及び、同事業への協賛企業の募集協力等について説明があった。

(説明者；同社役員山口剛氏及び、社員田島遙菜)

○次回の委員会の開催について

次回～4月18日(土)、14:00～17:00、場所：同会場「結い」

今回同様、パソコン講習と会議を兼ねて実施(前半PC講習、後半会議)

以 上